

第 34 回日本霊長類学会大会 中高生ポスター発表申込用紙

(次ページ「中高生ポスター発表申込用紙 記入要領」に従って、ご記入、送付ください)

1. 代表者（生徒）の情報

- (ア) 氏名（フリガナ）：
- (イ) 学校名：
- (ウ) 学年：
- (エ) 学校所在地（住所）：
- (オ) 電話番号（学校）：

2. 指導者（教員）の情報

- (ア) 氏名（フリガナ）：
- (イ) 顧問等を担当するクラブ名：
- (ウ) 電子メールアドレス：
- (エ) 緊急の連絡先（携帯電話など）：
- 指導者は、引率者である必要はありませんが、代表者と同じ学校の教諭であり、生徒の研究内容を把握し、申込手続きに関して責任を負う立場の方をお願い致します。

3. 発表内容の情報

- (ア) 演題名：
- (イ) ポスター発表者全員
の氏名と所属：

4. 引率者の情報（指導者と同じである場合は、記入する必要はありません）

- (ア) 氏名（フリガナ）：
- (イ) 発表者との関係（保護者、所属
校教諭、その他〔具体的に〕）：
- (ウ) 緊急連絡先（携帯電話など）：

5. 過去の学会大会における受賞歴についての情報

- (ア) 過去の受賞歴の有無： 無 ・ 有 （該当しない方を削除）
- (イ) 受賞年月日、学会名 年 月、学会名：
- (ウ) 本研究と過去の受賞
内容の相違点：

中高生ポスター発表申込用紙 記入要領

別紙「第34回日本霊長類学会大会 中高生ポスター発表申込用紙」に記入にあたっては、本紙の要領に沿って作成してください。

1. 発表資格は、「中学校・高校・高専またはそれらに準ずる学校の生徒」としてありますが、申込手続きに関しては、代表者と同じ学校の教諭であり、生徒の研究内容を把握し、学校側の手続きにおいても責任が負える立場の方（「指導者」とよぶ）をお願い致します。
2. 「代表者（生徒）」欄は、個人や校外のクラブ等からの申込であっても、発表代表者の所属校を記入してください。
3. 「指導者（教員）」欄は、次のように記入してください。
 - 指導者（教員）と発表者である生徒との関係は、部活顧問や理科担当教員等としての教育的関与もあれば、生徒の自主的な参加希望に対して協力する場合もありえます。「顧問等を担当するクラブ名」の欄には、校内クラブ・サークル・クラス等の名称を記入した上で、顧問・担任等の役割を簡潔に記入してください。
 - 発表申し込み受け付け直後から発表当日に至るまで、何かと急なご連絡をする場合がありますので、メールアドレスや携帯電話番号の記入をお願い致します。
4. 「引率者」欄は、申込形態に応じて、次のように記入してください。
 - 引率者と発表者である生徒との関係は、指導者に委任されて参加する教員や保護者、校外アドバイザー（実質的な指導を担う方を含む）など、さまざまなケースがありえます。「発表者との関係」の欄には、該当する関係を簡潔に記入してください。
 - 発表当日、何かと急なご連絡をする場合がありますので、緊急対応が可能な携帯電話番号（あるいはメールアドレス）の記入をお願い致します。
5. 「過去の学会大会での受賞歴」欄は、本発表と関連する内容の発表が、過去に霊長類学会および他の学会大会において受賞している場合に限り、次のように記入してください。
 - 過去に学会大会で受賞歴がある場合は「有」、ない場合は「無」を残し、該当しない方を削除して下さい。学会以外での受賞歴（科学コンテスト等）や内容が全く異なる発表については問いません。
 - 受賞した学会名および年月を記入して下さい。複数ある場合は最新のものを記入して下さい。
 - 本研究が過去に受賞した研究と全く同じ内容である場合には、審査対象から外す可能性があります。内容の相違点、特に異なる点があれば（新規なデータを追加した、調査地を追加し比較検討を行ったなど）分かりやすく記入して下さい。
 - 次ページ以降の文書「中高生ポスター発表をされる皆さんへ」に、発表において心がけてほしい点をまとめております。指導者の方はご一読の上、発表者へのご指導にご活用ください。

◇ 個人情報の扱いについて

発表申し込みなどでご提供いただいた個人情報は、本大会の運営のためにのみ利用し、大会終了後は廃棄致します。

中高生ポスター発表をされる皆さんへ

■ 発表マナー

① 基本、1つの発表は1回まで。

絶対にやってはいけないのは、同じポスターを使い回しすることです。でも、霊長類学会と生態学会では、異なる側面からコメントを受けることができるでしょうから、どちらでも発表したい。そのような場合にはどうしたらよいでしょうか？

② 2回目以降の発表の際には、前回よりもバージョンアップしよう。

- ✧ 同じような内容であっても、コメントを受けて分析を変える、追加データを取る、新たな視点を加える、考察を深める、などの改変を行えば問題ありません。これを繰り返すことによって、より良い発表をすることができるでしょう。
- ✧ 同じタイトルで、何年にもわたって、先輩から後輩へ引き継がれる研究もあります。発表者が変更・追加されるだけでなく、前よりも層の厚いデータを提示し、内容もグレードアップして発表することが大切です。長期間にわたる調査からは、短期間では見えなかったものが見えてくるかもしれません。

■ 大事なものは賞を取ることに？

賞を取れるような発表をできるのは、素晴らしいことです。でも賞を取れなかった発表でも、面白い発想が含まれていたり、今後の発展の仕方によっては非常に面白い内容になる可能性があります。学会発表すると、様々な方からコメントを頂けますから、それらを参考にして、研究を大事に育てていきましょう。

■ 他の学校の発表も聞きましょう

自分の発表をして、たくさんの方から質問やコメントをもらえるのは、とても嬉しいものです。興味を持ってもらえた証拠ですからね。でも、他の人の発表も聞きましょう。他の人の発表には、自分の研究へのヒントが隠されているかもしれませんよ。そして自分から質問をしましょう。質問力をつけると、自分の研究にも反映できます。

■ 自分から話しかけよう

ポスター発表の場、ランチョンセミナーの場などでは、参加している研究者はもちろん、他の学校の生徒さん達との交流を深めてください。将来、共同研究が生まれるかもしれませんよ。研究者の皆さんも、好奇心旺盛な若い皆さんに興味を持っていただき、質問されることを嬉しく思っています。躊躇せず、声をかけてみてください。

以上

日本霊長類学会第34回大会実行委員会